



はだっこだより

秦幼稚園

令和8年度 第3号

梅雨に入り、室内で遊ぶ日が続きました。巧技台を使った遊びでは、登る、渡る、跳ぶなど全身を使って遊ぶ中で、「もっと面白くするにはどうしたらいいかな」と子どもたちが考え、試したり、挑戦したりする姿が見られました。繰り返し取り組むことでできるようになる喜びを感じたり、友達とやり取りをしながら遊びを発展させたりして楽しみました。

一本橋の傾斜が変わると、体の使い方やバランスを自分で考えながら渡る姿が見られました。

ぶら下がって渡るのも面白いよ!



ここは海だから、サメに食べられないように渡るのはどう?



じゃあ、私はサメになる!

サメに食べられないように、気を付けて渡ろう!



自分たちで作ったサメをどこに置くとより面白くなるのかを友達と相談しながら考えました。



遊びに必要なものを自分たちで考えて作ったり、友達と相談しながら、みんなが楽しめるルールを考えたりしました。



年長児の遊びに刺激を受けながら、3歳児もイメージを広げ、一緒に遊びを楽しんでいました。

発見!

身近な素材を使って試す中で、様々なものがシャボン玉づくりに使えることを発見しました。また、息を吹き込む位置や吹く強さを変えながら試したり、比べたりして楽しみました。



サンダルやラップの芯、網じゃくしなど、いろいろ試しました。



雨上がりの水たまりに、シャボン玉を拭き掛けてみると、割れにくいことが分かりました!

つぶやき

水着に着替え、サンダルを履いて園庭に向かおうとした時のことです。B 児が急いでサンダルを履こうとしていたのですが…聞こえてきた会話に心配になり、声を掛けたくりましたが様子を見ることにしました。

5歳児「行くよ!」

3歳児「待って」

5歳児「じゃあ、7数えてあげる」

「1, 2, 3…」

「7! 履けたね!」

7数える間に履けると思ったのかな?

間に合わなかったら、どうするのかな?

子どもたちだけで考え、思いやりをもって関わる姿に成長を感じました。教師はすぐに声を掛けるのではなく、一人一人の力を信じて見守ることも大切にしています。そうした見守りの中で、子どもたちの優しさや主体的な姿が育まれていることを改めて感じたひと場面でした。